よみましょ・みましょう

不漁（しけ）の原因となる

古ビニールの処理は完全に

焼却または再生へ

ビニール栽培の盛んになったのはよいことですが、その反面このごろ古ビニールによる漁業障害が大きな問題として取りあげられ、障害に対する経費、補償などの訴訟問題にまで発展しています。

それは、河川に捨てられた古ビニールが海に流れ込み、海中で数限りなく浮遊し、かつこれらの古ビニールが光線を反射するため魚類がオジケヅキ、沿岸に近づかないという現象をおこしているばかりでなく、これらの古ビニールが漁網にかかるなど、不漁と障害の原因となっています。

そこで県ではその対策として、古ビニールを河川や海に捨て、または流さないように呼びかけるとともに、焼却または再生のための回収をはかることにしています。

古ビニールの再生は、高知市にある東洋電化KKが行なっていますが、これが回収については、園芸組合などの団体が回収の計画をたて、その実効をあげようとしています。

ところで不漁の原因となっているのは、園芸用の古ビニールばかりでなく、家庭にできるビニール袋なども漁業障害となっていますので、河川や海に捨てずに、必ず焼却することが望まれています。

お互が公民としての道義を守るとともに、共存共栄の立場からも漁業障害を起こさないよう十分気を付けていただきたいものです。

ハイライト

おとしよりに紅白モチ

田所さんの善行

毎年後免町中町公民館で行なわれている〝老人の日〟の行事に、紅白のモチの贈り物がありましたが、これは岡町西町、モチ製造業田所芳恵さん（六一）のこころづくしであったことが、このほどやっとわかりました。

田所さんは家族はなく一人でつくったモチを毎朝市内の小売店に卸していますが、贈り物を始めたのはさる三十六年からことしまで休んだことがありません。すでに延べ約五百人のお年寄りたちの贈り物と知らずにいただき喜びを味わったのです。

田所さんがこのことを思いついたのは彼岸や貧になって、戦前死亡したあかあさんのお祭りをしようとしても、とくにモチづくりのいそがしい日に当たるため願いがかなわない。そこでお年寄りたちに手なれたモチをつくって贈り、おかあさんの供養とするためです。

なお田所さんは、毎年市の福祉事務所へ薄幸の人たちの足しにと古着を委託しており、社会福祉協議会でその善意に感謝することも考えられています。

＝写真はかくれていた善意の主・田所さん

知りませんか　この方たちを

つぎの方は軍人加算恩給の該当者ですが、またその手続きをされてなく、かつ、その方たちの行き先がわからず連絡がとれずに困っています。

現在の住所を知っている方は、文書または電話で市役所厚生課へお知らせください。

カッコ内は出征当時の本籍です。

〔日章地区〕＝山本真澄（久枝八二〇）、中沢正之（田村乙四四一）、吉本正夫（物部二六二四）、吉永忠次郎（久枝九一）

〔岩地区〕＝山本義雄（金地四〇六）

〔岡豊地区〕＝池内広江（八幡三六）、西野英夫（中島二六）

〔上倉地区〕＝武内武（奈路五五四）

〔長岡地区〕＝金澤憲一（野中八七三）

〔十市地区〕＝島田哲宏（十市二一三九）

県下初の肉メン羊

前浜の刈谷真彦さんたちが最近県下初の肉羊種メン羊を二頭購入しました。

福島県下二本松の産で価格十二万円のドムニー種、普通のメン羊のように毛も取ることができます。刈谷さんたちは純粋種をふやすほか、現在市内で飼育されている採毛用に交配し、一挙にふやす構想を練っています。

ミカンの選果場建設

一時間2.5トンを処理

市ではこの秋、岡豊町笠ノ川（白木谷口）に、ミカンの選果場を建設します。

費用約一千万円は岡豊、上倉、久礼田、瓶岩農協の融資。建て物は鉄骨平屋建てで、面積百二十四坪、選果機の処理能力は一時間に二・五トです。四、五年後同じ敷き地に、同じ規模の施設をふやす予定です。

南国市婦人集会

10月10日午前10時～午後4時
市立中央福祉館（隣保館）

しごとのくらし、物価の問題など〝お互に話し合いを進め婦人の地位の向上をはかりましょう

市長　農業委員　農業議員　欠員補選

選挙日内定

任期切れのせまった市長、農業委員（三十人）の選挙日は次のとおり予定されました。

市長選は市会議員の補欠（現在一人）選挙といっしょに行ないます。

なお選挙の日は変更ない見込みです。

農業委員選挙告示・10月31日、立候補届出締め切り・11月3日、投票・11月10日。

市長選挙、市会議員補欠選挙告示・11月28日、立候補届出締め切り・12月1日、投票・12月8日。

十市の園芸組合統合

最近、十市に中央園芸組合ができ、山本美寿義組合長らで発足しました。これは北部、丸南、丸山中組丸共、花キの六組合が統合したもので、西部、角坪の両組合にやがて合流するといわれます。

なお、新組合は工費約二千万円で、出荷施設を建設する準備をすすめています。

たばこは　市内で
買いましょう

家庭の健康

病気の原因をみつける最も簡単な方法の一つに、尿の検査があります。誰しも毎日オシッコをしているが量の多少によって、はやめに、病気の一つでも発見することができれば、不幸中の幸ともいえましょう。以下多尿の注意すべき点についてのべてみることにします。

多尿のなかには、一過性のものと、持続性のものとがあるが、膀胱炎などにみられる頻尿（尿の回数の多いもの）とは意味がちがいます。健康者の中でも、一過性の多尿は、しばしば、みられるもので、例えば、寒いときは、暑いときよりも、運動をするときより、運動をしないときに、精神的に心配ごとのあったとき、またもっとも手近かなものに、酒、ビール、コーヒー、茶などがあり、幼児に砂糖湯や、牛乳をあたえたときなど、尿量の増加することは、誰もが日頃、経験するところであります。

多尿症（オシッコの多い病気）について

病的の場合は、てんかん、喘息、狭心症、胆石の発作後、さらにヒステリー、片頭痛、移動腎などにも、尿量がましてきます。

われわれが、とくに注意したいのは、持続的に多尿となる慢性疾患の場合です。多尿と聞けば、いの一番に考えなくてはならないものは、糖尿病で、この病気の特徴は、多尿、多渇、多食の三症状であり、四十才前後より発病する機会が多くなってきます。原因は、遺伝関係がやかましくいわれますが、つぎの誘因も大きく影響しているようです。

栄養過剰、糖分の取りすぎ、運動不足、精神の過労や、興奮、動脈硬化や、とくに肥満している人は、気を付けなくてはなりません。つぎに尿崩症という、多尿、多渇の病気があり、脳下垂体の障害や、梅毒が原因であるといわれています。糖尿病の場合は尿量の多いのにかかわらず、比重が高く本病は、これに反して比重が低くなっています。さらに萎縮腎（いしゅくじん）という腎炎の悪性の場合、心臓の機能の悪い場合、損傷腺肥大症、四肢末端肥大症や、甲状腺障害からくる粘液水腫のときにも多尿をともないます。だんだん気候が寒くなるにつれ、四十才以上の人は、尿に注意をするとともに、月に一度の血圧測定も実施したいものです。（山）

よみましょう・みましょう

若さと友情の集い

市青年団共励会

市連合青年団主催の第六回青年団共励会は四十六人（内女子十三人）の若人が参加し九月十八、九日の両日にわたり国府小学校で開らかれました。

この共励会は、青年団体の団員に対して、団の運営に必要な基本的な学習方法や技能を習得し、健全な地域青年団体の育成と、その活動をはかり、合宿による集団生活を通じ相互の友愛と信義を深めこんごの連絡提携をしようとするもので、市内各地区からの青年が集り、映画や分科会で学習を行ない、夜はキャンプファイヤーに興じ、市の社会教育課長沢村泰誠氏の「青年に望む」という講演を聞き、これからの青年団活動について大いに語り合い得るところがありました。

いま、市の青年団で活動をしているところは、三和地区だけといってよく、そのたの地域では、青年団活動が満足にできない状況です。

それは、団員数が少なく、指導者がいない、予算もなければ意欲もないという、ないないづくしで悩み多い活動を続けているわけですが、この共励会によりなんらかの刺激をうけ、活発な動きを起こさすことを期待されています。

十月一日は
国勢調査の日です
みなさんのご協力をねがいます